

電波時計 取扱説明書 (照明機能付き電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

取扱説明書は、お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造元	リズム株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12 https://www.rhythm.co.jp	
©2009	●本保証書は再発行いたしません。 ※印は販売店記入

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

! 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⊘ 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
●電池に傷をつけない。●電池を分解しない。
●電池をショートさせない。●電池を充電しない。
●電池を加熱しない。●電池を火の中に入れない。

⊘ 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

! 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

⊘ 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

⊘ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

⊘ ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

⊘ 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げ販売店にご持参ください。無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。

※品名・型番
※保証期間
お買い上げ 年 月 日より 1年間
お客様ご氏名 様
ご住所
TEL() -
※販売店印(住所、店舗名、電話番号)

保証について

■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
- お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
- 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。
- 電池の交換。

※送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、製品の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://ijy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れていただきますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

電池の交換時期お知らせ機能 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

十分に明るい所で、秒針が12時位置に停止しているときは[※]、電池の交換時期です。指定の電池に速やかに交換してください。そのまま放置した場合、電池からの液漏れが発生し、故障や家具などを汚す原因となります。

○交換時期のお知らせを開始してから1ヵ月程度は動き続けます。

○電池の交換時期になると照明機能が使えなくなります。

(注) 強制受信ボタンを押して受信しているときを除きます。

⚠ 注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、強制受信を押してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針±1秒 時分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒 温度が5～35℃のとき
推奨電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個
電池寿命	約1年(受信に成功し、アラーム:30秒/日、自動点灯:明るさ「弱」 7時間/日使用時)
アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る
アラーム音	電子音
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
スヌーズ	アラーム音が約5分間の一時停止
オートストップ	アラーム音が連続5分で自動停止
音量調節	なし
照明	光源 LED
自動点灯	明暗センサーに連動して暗所点灯
暗所秒針停止	明暗センサーに連動して12時位置に停止
電池交換時期お知らせ機能	あり 秒針が常時12時位置に停止

付属品 お試用電池 2個、取扱説明書・保証書 本書

電波受信機能	電波を受信して時刻を自動修正
受信局	福島局/九州局 自動選択
受信ON/OFF	ボタン操作で可能
受信結果確認	25時間以内に受信に成功しているときに、スヌーズボタンを押すと受信確認音が鳴る
受信回数	最少 1回/日 最多 6回/日 受信状態により受信回数は変化。
受信開始時刻	2時、3時、4時、12時、13時、14時 各時間帯の16分20秒に受信開始 *2時16分20秒は必ず受信を行う
防滴防塵機能	なし

※付属の乾電池(マンガンまたはアルカリ)は、動作確認のためのお試用です。工場出荷時に同梱していますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。使用する電池は、お試用電池の種類に関わらず、「おもな製品仕様」に記載の推奨電池をお求めください。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

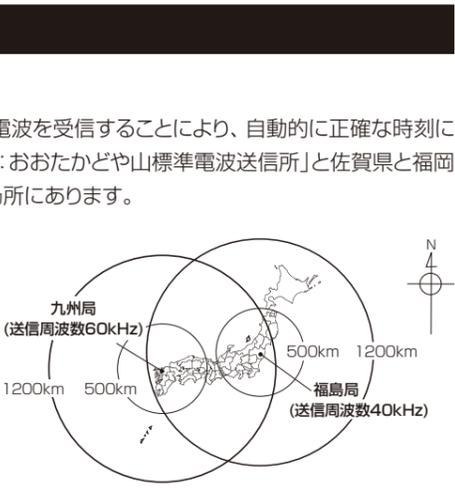
この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスを受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について
電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

お問い合わせ先 (フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005
受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

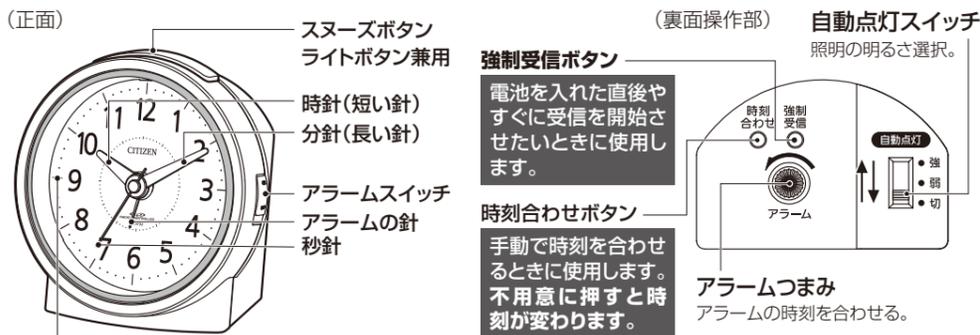
お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります**製品番号(型番)**をお伝えください。例 4RL000



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



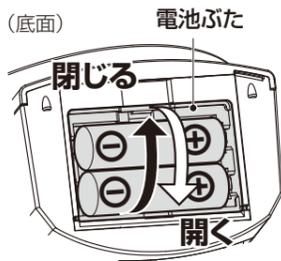
明暗センサー

照明について

文字と時針、分針が照明されます。スヌーズボタンを押すと自動点灯より明るくなります。

○明るい所では照明の効果を十分に確認できません。

○文字盤や針のデザインにより光りかたが変わります。



単3形アルカリ乾電池(推奨) 2個

電池のセット

電池をセットするときは、電池ふたを開閉してください。

注意

電池を指示と逆向きに入れると、電池の発熱・破裂・液漏れの原因になります。

明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針停止、照明の自動点灯

明暗センサーが暗いと判別したときは、秒針が12時位置に停止します。また、自動点灯スイッチが「強」または「弱」に設定されているときは照明が点灯します。

昼間や夜間の照明された環境でも、明るさが不足するとセンサーが反応します。

照明 自動点灯と一時点灯について

自動点灯 明暗センサーと連動して暗くなると自動点灯します。

自動点灯スイッチで明るさの「強」「弱」を選択できます。

使用しないときには「切」にしてください。

電波を受信しやすくするため、標準電波を受信しているときは消灯します。



一時点灯 スヌーズボタンを押している間とスヌーズボタンを離してから約4秒間照明します。

自動点灯の「強」よりも明るくなります。

電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信を押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

受信機能OFF(無効にして手動で時刻を合わせる)

強制受信ボタンを連続して4回押してください。

強制受信ボタンを押すタイミングは、確認音が鳴り始めたらずきに押してください。

受信機能がOFFになると、強制受信ボタンを押しても確認音が鳴りません。

▶時刻は手動で合わせてください。

○回路内に電荷がなくなると受信機能はONになります。

○この説明の中で「押す」は「押してすぐ離す」ことを意味しています。

○操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

○受信機能がOFFのときに、電池を取り出しても設定を長い時間保持します。受信機能をONにするには、説明に従って操作してください。

○受信機能がOFFのときに、強制受信ボタンを押すと早送りでおおよそ12時間分動き、その後、通常の時刻表示になります。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

●標準電波を受信できない場合の時間精度はクォーツ精度になります。

●受信機能がONのときは、手動で時刻を合わせても、電波の受信に成功すると時刻を修正します。

裏面 **電波受信機能のON/OFF切り替え操作** 参照。

手順 ○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送ります。このとき秒針は12時位置に止まります。

③ボタン操作をしていないのに、針が早送りしているときは、通常の動きになってから操作してください。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンを離れた時点でゼロ秒から秒を刻み始めます。秒針が12時位置に止まっていないうときは、秒針は早送りして現在時刻に移動します。

1. 使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して時刻を合わせる

標準電波を利用しないで手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、電池を2個入れる**
確認音が鳴ります。
- 強制受信ボタンを押す**
確認音が鳴り、針は、4、8、12時のいずれかに移動して、受信が終わるまで停止します。
誤作動防止のため必ず強制受信ボタンを押してください。
- 受信が終わるまで待つ**
2～15分後に受信が終了し、針が早送りして時刻位置に移動します。
受信中は、操作ボタンには触れないでください。
- スヌーズボタンを押して受信結果を確認する**
【受信の流れと結果の確認】参照。
受信に成功した場合、受信確認音が鳴ります。
受信に失敗した場合は、**電波を受信できない場合**を参照。

○受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

○受信が成功しているのに、時刻が正しくないときは、ノイズにより誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して、再度受信させてください。

- 確認音は**、電池を入れたとき、強制受信ボタンを押したとき、アラームスイッチをONにしたときに、「ピー」と電子音が1回鳴ります。
- 受信確認音は**、標準電波の受信に成功しているときに、明るい所でスヌーズボタンを押すと「ピーピー」と2回電子音が鳴ります。
受信に失敗しているときや電波受信機能がOFFのときには鳴りません。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合があります。誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

【受信の流れと結果の確認】

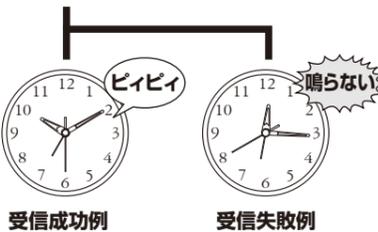


強制受信ボタンを押すと確認音が鳴ります。鳴らない場合は、電波受信機能がOFFになっています。

4、8、12時のいずれかの時刻に移動して停止して、受信を開始します。

最長15分程度で受信終了

スヌーズボタンを押して受信結果を確認する。



受信確認音は25時間以内に、受信に成功しているときに鳴ります。

2. アラーム機能を使う

■ アラーム時刻の設定

アラームつまみを、必ず矢印の方向に回して、アラームの針をアラームを鳴らす時刻に合わせます。

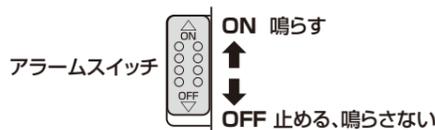
- アラーム時刻は10分単位で設定できます。
- アラームつまみを逆に回すと、アラーム精度が悪くなる場合があります。

■ アラームスイッチの設定

ON 設定時刻にアラームが鳴る。

ONにすると「ピー」と確認音が鳴ります。

OFF 鳴らさない、鳴っているアラームを止める。



■ スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときにスヌーズボタンを押すと、約5分間アラーム音を停止してからまた鳴り出します。この機能は、アラーム時刻から20～60分間繰り返し使えます。アラーム音を完全に止めるには、アラームスイッチをOFFにします。

■ オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると、約5分間鳴り続けて自動的に止まります。

操作例 6時20分にセット

アラームつまみを回すと、10分単位に「カチ」とクリック感があります。アラームの針を7時に合わせ、6時方向に4回「カチ」とさせてください。

必ず矢印方向に回す



■ アラーム音を試聴するには

- ①アラームスイッチをOFFにする。
- ②アラームの針を時計の時刻に合わせる。
- ③アラームスイッチをONにする。
アラームを止めるときはOFFにする。

■ アラームご使用上の注意

- アラームスイッチがONのときは、午前と午後の2回アラームが鳴りますので、使用しないときは、OFFにしてください。
- アラームの音量は調節できません。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。